

# アガルートアカデミー 国内MBA講座

2022年度秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科  
小論文 解答速報



AGAROOT  
ACADEMY

# 飯野 一



## <経歴紹介>

2003年：早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科  
（現：経営管理研究科全日グローバル）卒業

2003年～：ウインドミル・エデュケーションズ株式会社を設立し、国内MBA  
試験受験指導開始

2019年：アガルートアカデミーに登壇

## <研究テーマ>

『上司の動機付け言語が部下の仕事満足、仕事の成果に及ぼす効果』

## <卒業後のキャリアについて>

ウインドミル・エデュケーションズ株式会社で代表取締役を務めながら受験指導をおこない、約20年間にわたる指導経験を有する国内MBA受験に精通する講師となる。国内MBAに関する書籍を多数出版し、ベストセラーを生み出している。



**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 鈴木 一央



## <経歴紹介>

2018年：早稲田大学大学院経営管理研究科修了(全日G) ※交換留学：Sasin School of Management

2020年：andAsia株式会社創業

## <職歴>

2010-16年：大手自動車メーカー販売(国内営業)

2018-20年：経営コンサルティングファーム(Consultant)

## <研究分野・テーマ>

ゼミ：組織と情報

修論テーマ：日系自動車産業のタイ・プラス・ワン企業戦略の活用と「距離」の考察

## <キャリア詳細>

自動車メーカーの国内営業として、直販販売台数1位・総合成績3位を獲得。経営コンサルティングファーム入社後、プロジェクトリーダー/メンバーとして、多岐に渡るプロジェクトに参画。その後、独立し現在に至る。



受講相談

無料体験

受付中

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

解答速報

# 過去の小論文の出題傾向

過去の出題された問題を分析すると、以下の4つのパターンに分類できる。

1. **経営学の知識が必要となるビジネスケース問題**

- ・ 減価償却費、M&Aによる範囲の経済を用いて解答する問題
- ・ 報酬制度、販売チャネルに関する知識を用いて解答する問題
- ・ 孫氏の言明が問題文に示され、ポジショニングビューの知識を用いて解答する問題
- ・ マキアヴェッリの君主論が問題文に示され、リーダーシップ論やイノベーション理論を用いて解答する問題

2. **自分の人生観、仕事観を問われる問題**

- ・ 「ビジネスは口のため」。口に自分の価値観をもとに用語を入れて、それについて、特定の企業の事例を用いて説明する問題

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 過去の小論文の出題傾向

過去の出題された問題を分析すると、以下の4つのパターンに分類できる。

## 3. 表やグラフを読み取る力を試す問題

- ・ 人手不足なのに賃金が上がらない理由に関して、「有効求人倍率」「バス運転手の平均給与」などが示されたグラフをもとに論述する問題

## 4. 経営学の知識は必要なく、論理的思考力を試す問題

- ・ キリンの首はなぜ長いのか？について、問題文の内容をもとに論理構築する問題

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

# 2022年度秋入試の小論文問題について

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

- ◆問題1は、過去の出題傾向の「表やグラフを読み取る力を試す問題」に該当する。この問題は過去問とほぼ同様の傾向である。
- ◆問題2は、過去の出題傾向の「自分の人生観、仕事観を問われる問題」に該当する。問題2に関しては、過去問と比較して、より自分の人生観や仕事観を要求されるものとなっている。日本の企業が直面する経営上の問題点を踏まえて、それに対して、自分はどうか考え、どのように生きていくことが幸福なのか、という生き方の軸を持っていると解答がしやすい。そういう意味では、ビジネスパーソンとしての成熟度が試されている問題ともいえる。

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 問題1のポイント

◆ポイント1：グラフから読み取れることを箇条書きで説明する。

- 箇条書きとは、情報を絞って要点となる部分を簡潔に提示する方法である。語尾を名詞や代名詞で終わらせる体言止めの形式、体言止めでなくとも、簡潔に結論だけを述べた文章で書くことである。要点の1つごとに改行され、1行があまり長くないよう工夫されている書き方である。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

# 問題1のポイント

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

◆ポイント2：箇条書きで600字はかなり字数が多いので、情報を整理して複数の視点で複数の項目を導き出すこと。この点は、アガルートの研究計画書の書き方講座で説明している「帰納法」「演繹法」を用いて書くと600字程度も無理なく書くことができる。

◆ポイント3：グラフからわかることのみを書く。グラフに基づかない推測はダメ。

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 問題1の解答作成法

受講相談

無料体験

受付中

◆ **ステップ1** : グラフから読み取れることを列挙する。

- 12国の中でデンマークは生活満足度が1位である。
- 12国の中でスウェーデンは生活満足度が2位である。
- 12国の中でノルウェーは生活満足度が3位である。
- 12国の中でカナダは生活満足度が4位である。
- 12国の中でイタリアは生活満足度が9位である。
- 12国の中で韓国は生活満足度が10位である。
- 12国の中で中国は生活満足度が11位である。
- 12国の中で日本は生活満足度が12位である。



ここでは、「**論理的思考**  
**(ロジカルシンキング)**」の  
基本である情報を整理し筋道  
を立てて考えること、という  
点ができておらず解答として  
の評価は低くなる。

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 問題1の解答作成法

## ◆ステップ2

そこで論理的思考の基本である「**帰納法**」「**演繹法**」を用いた解答をする。これができていると評価は高くなる。アガルートの受講生は、研究計画書の書き方講座で「帰納法」「演繹法」とともに説明済みである。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 「帰納法」を用いた解答作成法

◆ 複数の事例から共通点を見つけ、これらを統合して結論を導くのが帰納法である。事例をもとに抽象化した概念（理論、一般論）を導き出す手法。

- 12国の中でデンマークは生活満足度が1位である。
- 12国の中でスウェーデンは生活満足度が2位である。
- 12国の中でノルウェーは生活満足度が3位である。
- 12国の中でカナダは生活満足度が4位である。

北欧圏の国は  
生活満足度が高い

- 12国の中でイタリアは生活満足度が9位である。
- 12国の中で韓国は生活満足度が10位である。
- 12国の中で中国は生活満足度が11位である。
- 12国の中で日本は生活満足度が12位である。

アジア圏の国は  
生活満足度が低い

受講相談

無料体験

受付中

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

解答速報

# 「帰納法」を用いた解答作成法

- ◆アガルートの受講生は、小論文添削講座（基本編）で説明した「上位概念」を導き出すという作業が、この帰納法を用いた解答法になる。
- ◆統計解析に詳しい方は、多変量解析の「クラスター分析」の考え方を用いた解答の仕方。身近な事例として、アマゾンのリコメンデーションは「クラスター分析」を用いてる。

受講相談

無料体験

受付中

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 「演繹法」を用いた解答作成法

◆演繹法は「複数の事実を足し合わせて結論を出す」考え方である。帰納法では、各事象に共通する情報を抽出し結論を得た。これに対して演繹法では、「AならばB」という事実と「BならばC」という事実を足し合わせ、「AならばC」というように結論を得る思考形態である。

- 事実1：電化製品は電気によって動く
- 事実2：パソコンは電化製品である
- 結論：パソコンは電気で動く

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 「演繹法」を用いた解答作成法

◆前述の演繹法を、今回の小論文問題に適用すると、

- 事実1：社員の幸福度が高い（低い）と売上が増える（減少する）
- 事実2：日本は社員の幸福度（生活満足感、仕事への熱意）が低い
- 結論1：日本企業は売上が減少している
- 結論2：デンマークの企業は売上が増えている
- 結論3：米国の企業は売上が増えている

◆ここで説明した「帰納法」「演繹法」を用いて、600字に近い字数を書くことが合格するために必要なことである。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

# 問題1の解答例

## ◆「仕事の熱意が強いと生活満足度も高い」図からわかることを列挙

- 日本は、仕事への熱意の強さが最下位
- 日本は、生活満足度が最下位
- 仕事への熱意の強さは米国が最も高い
- 生活満足度はデンマークが最も高い

## ◆「仕事の熱意が強いと生活満足度も高い」図から上位概念を帰納法で導き出す

- アジア圏の国（日本、韓国、中国）は生活満足度が低い
- 北欧圏の国（デンマーク、スウェーデン、ノルウェー）は生活満足度が高い
- 欧州はアジア圏の国よりも生活満足度が高い
- 仕事への熱意の強さは、欧州とアジア圏では明確な差はない

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**  
**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**  
**解答速報**

# 問題1の解答例

## ◆「社員の幸福度が低いと売上高に響く」図からわかることを 列挙

- 社員の幸福度が高い人が多い企業は増収が多い
- 社員の幸福度が低い人が多い企業は減収が多い

## ◆2つの図を組み合わせて演繹法で推論を導く（図に基づく推 論なのでOK）

- 日本企業は売上が減少している
- デンマークの企業は売上が増えている
- 米国の企業は売上が増えている

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 問題2のポイント

- ◆本文の内容を正確に読み取ることができるか。
- ◆「心理的安全性」という用語を知っているか（本文を読めば理解はできるが、この用語がなぜ日本企業の間で注目されているか）。

⇒アガルートの「経営学の基礎講座」を受講している方は、「日本経営史」「日本的経営の問題点」で説明している点を理解していれば解答可能。また、アガルートの講座は、「人生の幸福度をあげるためには、いかに生きるべきか？」という人間にとっての普遍的な課題に迫ることを目的に作られているため、講座を受けていることだけで解答への近道になっているはず。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**  
**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**  
**解答速報**

# 問題2のポイント

- ◆自分の仕事の経験から、上記の「心理的安全性」という概念をもとに、本文の内容への意見を述べることができるか。意見を述べるには、自分の人生観、仕事観といった生き方の軸を持っているかどうか問われる。この軸がない方は、解答しにくかったと思われる。
- ◆上記を踏まえた上で「伝達効率の高い文章（主張、経験に基づく根拠）」を作成できるか。⇒アガルートの「小論文添削講座基本編」を受講している方は講座で説明した通りに解答すればOK。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 「幸せな社員を育む」職場環境

## ◆よい意味での「個人主義」が尊重される組織

- 人それぞれの考え方の違いや才能の違いを最大限に尊重し、その違いを伸ばしていくことを肯定する信念を持った組織。
- これが問題文の「心理的安全性」を生む。

## ◆お互いの信頼に支えられたコミュニティがある

- 他人を信頼できることのできる人、信頼することが可能な環境に置かれている人ほど、高いレベルの幸福を感じている。信頼に支えられたコミュニティがあることが幸せな社員を育む。

（出所）早稲田大学校友会ベンチャー稲門会（編）東出浩教（編著）（2018）『ガゼル企業 成長の法則』中央経済社

**受講相談**

**無料体験**

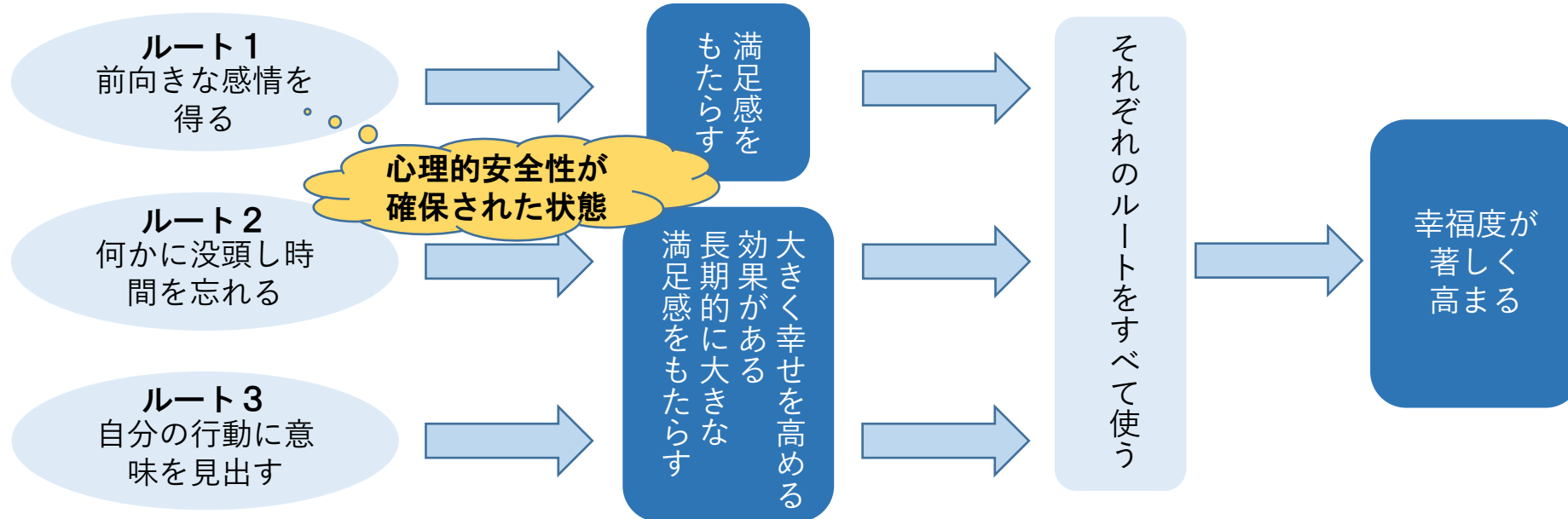
**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 「高い幸福感」を得られる働き方



（出所）早稲田大学校友会ベンチャー稲門会（編）東出浩教（編著）（2018）『ガゼル企業 成長の法則』中央経済社

受講相談

無料体験

受付中

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 問題2の解答例：鈴木バージョン

## ① 現状整理（問題文で何を問いているか把握する）

- 重要だと思ふキーワードを基に言及すべき側面を抽出する
- 新聞記事で何を伝えているか自分なりに要約する

「社員の幸福感を高めることが企業の業績向上を促進\*1する。職場環境や社員の働き方、報酬体系などの仕組み\*2を整え、仕事のやる気を高め、社員の生活満足度や幸福感、心理的安全性\*3などを高めることが重要である。」

\*1幸福感と企業の業績や成長、生産性の関係 記事が最も伝えたいことを読み解く

\*2仕組み（職場環境、働き方、評価、報酬体系） テイラーシステムの説明箇所にて日本が外内部環境の変化に適応する必要がある旨が記述

\*3幸福感・心理的安全性 生産性の向上やイノベーションに心理的安全性が影響する記述

## ② 自分の主張を決定（自分が解答しやすい方を選択する）

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

# 問題2の解答例：鈴木バージョン

## ③ 根拠と構成を整理（賛成）

- 自分の自動車開発現場の経験から根拠を整理する。「幸福感・心理的安全性を高める⇒イノベーションの創出を促進⇒企業成長につながる」
- 自動車開発の現場では、イノベーションが求められる。成熟した市場において、環境対応車や安全性の向上が必要とされているためである。
- イノベーションには、新しいアイデアが求められる。そのためには、あらゆるアイデアを発言でき、受容される環境、すなわち心理的安全性や認められる幸福感を整備・醸成する必要がある。
- 新製品による技術や特許は企業資産となる。また自らが手掛けた製品が世に出ることで動機付けとなり、次の商品開発に転換できる。
- 新たな製品は企業に利益を生み出し、企業成長を促進する

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

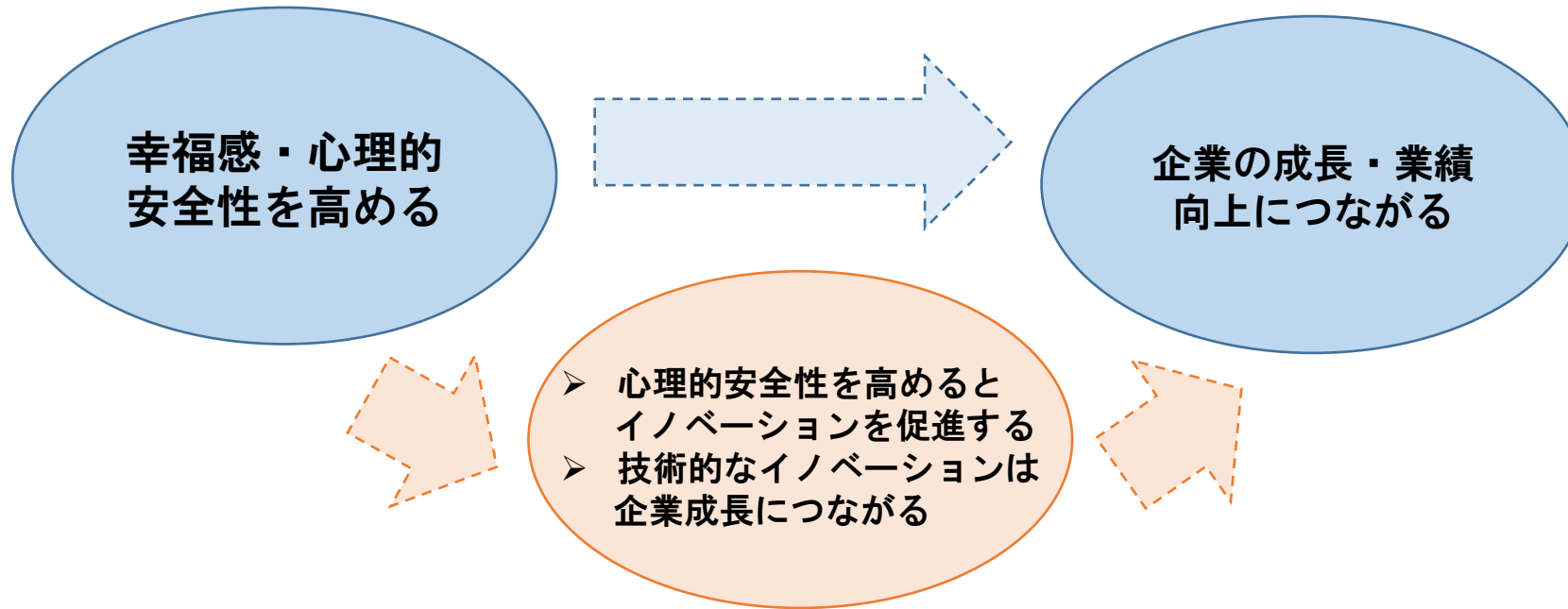
2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

# 問題2の解答例：鈴木バージョン

- 何故、「幸福感を高めることが、企業の成長につながるのか」論理的に整理する



**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 問題2の解答例：鈴木バージョン

受講相談

無料体験

受付中

この記事の主張は「社員の幸福度を高めることが企業の業績向上を促進する。職場環境や社員の働き方、報酬体系などの仕組みを整え、仕事へのやる気を高め、社員の生活満足度や幸福感、心理的安全性などを高めることが重要である」ということである。私は、この主張に賛成である。自身の自動車製造業に従事した経験から、自動車メーカーの商品開発のプロセスにおいて、心理的安全性が企業のイノベーション創出を加速させることを具体的に述べる。◀

現在の自動車開発は新進気鋭なデザインや様々な機能を複合させるアイデアが商品開発に求められている。新しいアイデアを提案することが求められる開発現場では、あらゆるアイデアを発言し受容する心理的安全性が商品開発に不可欠であると考ええる。誰もが発言しても良い、発言しても無下にしないという環境が開発者の幸福度を高めると考える。このような発言から新しい商品コンセプトや機能開発の礎となり、技術や特許など企業資産となる。これらのプロセスから新しい商品が発売され、企業成長を促進すると考えられる。開発者は自らが手掛けたアイデアや商品が顧客に認められ、世にでることで自身のやる気に繋がると考えられる。開発者はやる気を仕事に対する動機付けと士気に昇華し、次の商品開発に転換できる。このサイクルによって、企業は企業成長を促進する原動力となり継続的に成長できると考えられる。◀

以上のことから、私は「社員の幸福度を高めることが企業の業績向上を促進する」という点に賛成である。◀

(629文字) ◀

## ◆1パラグラフ

- 要約文と主張を記述。問題文の理解と本エッセイにおける自分の立場を明確にする。

## ◆2パラグラフ

- 主張に対する根拠を記述。具体的に記述し、定量的な表現があっても良い。

## ◆3パラグラフ

- コンクリュージョンを記述。

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 問題2の解答例：飯野バージョン（前半）

- 本文の「従業員の幸福度を上げることが企業の成長につながる」に賛成。
- 幸福度とは、「心理的安全性」を高めること。心理的安全性とは、職場で自由にものが言えたり、組織に認められて安心感を覚える環境にあることである。この点に賛成する理由を自身の経験から説明すればいい。
- 私が幸福度を感じるのは、ビジネスパーソンにサプライズ（驚き）と衝撃を与える前代未聞のことを実践することである。この前代未聞のことをMBAの世界で実践し、そのスタイルでビジネスをし、世間を「あっ」と言わせることが何にも代え難い幸せである。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 問題2の解答例：飯野バージョン（後半）

- これを実現するために、「アーティストのような予備校講師」をコンセプトにしたプロモーションを考えた。モード系の衣装を着た写真を掲載したMBA本を出版し、講義もそのままのスタイルで行った。私が予備校講師を始めた頃は、この前代未聞の演出に、業界内からは批判された。
- 一方、「アーティストのような予備校講師」というコンセプトは、受験生であるお客様からは支持された。お客さんから支持されると、世間の私に対する見方は少しずつ変化し始めた。批判的な意見が少なくなっていく。これにより私はありのままの自分を表現できるようになり、自由に発言しても安心できる環境になった。結果、幸福度が上がり、仕事の熱意も増し、売上も向上するようになった。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

私にとっての幸福は、  
一般のビジネスの世界（芸能界とかファッション業界ではない）で、  
多くの人々に、

**サプライズ（驚き）とショック（衝撃）**

そして、**笑い** を届けること。

**前代未聞**

だと言われることをして、世間を

**「あっ」**

と言わせることが幸せである。



AGAROOT  
ACADEMY

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

この幸せを追求して、国内MBA予備校の講師として、  
デビューする際に実践したことは、予備校業界ではかつて見たこともない



# 「超ファッショナブル」 「Dior Hommeのコレクションライン」

MBAという堅い世界に、サプライズや衝撃を与えた！

しかし、業界各社からは反対や批判をされた。  
競合の予備校からは、

## 「ポピュリズム」 「テクニックだけ教えている」

と批判された。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

当時の幸福度は低かった

そんな中、

「抵抗勢力はすべて敵だ！」

をスローガンに業界に戦いを挑んだ！

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

根底にあるのは、  
**「自分よりも立場の上の人、  
権力を持っている人に  
反抗し、抵抗する」**

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**反抗、抵抗する理由は「権力は腐敗する」から**

**「逆に自分よりも立場が下の人、  
弱い立場の人には優しくする」**

という幼少期に培われた価値観がある。

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

これによって、

**「日本の社会を根底から変える！」**

を実現したかった。

**これが私の人生の目的である！**

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**



AGAROOT  
ACADEMY

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

一方で、私の演出があまりに一般ビジネスの常識から外れていたため、お客さんである受験生は楽しんでいた。

同時に、私が書いた本（国内MBA研究計画書の書き方、2003年、中央経済社）の人气が爆発した。

結果、業界において、私は受け入れられ始めた。  
その後は、私に対する批判や反対意見は激減した。

幸福度が高くなり、仕事への熱意や情熱は日々高まった。  
売上も年々増加した。

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

## 問題2の自身の経験

### 著者紹介写真①



**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

## 問題2の自身の経験

### 著者紹介写真②



**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

**解答速報**

# 推薦図書

- 従業員の幸福度を上げると、企業収益が上がる、という点に関して参考になる書籍を紹介する。
- 人はどのような会社で、どのような仕事をすることによって「幸せ」を実感でき、「充実した人生」を送ることができるのかについて書かれた本と論文である。
- 早稲田大学校友会ベンチャー稲門会（編）東出浩教（編著）『ガゼル企業成長の法則』中央経済社（2018）
- Higashide,H.(2016) A model of happiness in the workplace, Kindai Management Review, Vol.4.（こちらはネットで無料ダウンロード可能）

受講相談

無料体験

受付中

2022年度（令和4年度）秋入試

早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験

解答速報

# 早稲田MBA小論文試験の対策法

## ◆問題1の「表やグラフを読み取る力を試す問題」への対策法

- 白書（経済財政白書、厚生労働白書）などを読み、表やグラフを読み取ることに慣れておく。
- 「論理的思考（ロジカルシンキング）」の基本である情報を整理し筋道を立てて考え書く訓練をする。基本的なテクニックとして、今回説明した「帰納法」「演繹法」を使えるようにしておく。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 早稲田MBA小論文試験の対策法

## ◆問題2の「自分の人生観、仕事観を問われる問題」への対策法

- ビジネス誌（日経ビジネス、週刊東洋経済）などで報道されている一般的なビジネス知識を持っておく。今回の出題では、「心理的安全性」という用語が、なぜ注目されているのか背景を理解しておく。そのためにはビジネス誌や話題のビジネス書・経営学の基本書を読んでおくこと。
- 自分の仕事や個人の経験から、自分の人生観、仕事観をしっかりと持っておく。働く意味は何か？自分にとっての生きる意味は何か？を考え、自分なりの軸を持っておく必要がある。
- これらを文章として読み手に理解しやすいように書く力を養っておく。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 独学では対策が難しいとお考えの方へ



- 「論理的思考（ロジカルシンキング）」の基本である情報を整理し筋道を立てて考え書く訓練に関しては、「小論文添削講座（基本編）」で添削指導をしている。
- また、知識として「帰納法」「演繹法」を知っておく必要があるが、これらは「研究計画書の書き方講座」で具体的な事例をあげて説明している。
- ビジネス誌（日経ビジネス、週刊東洋経済）などで報道されている一般的なビジネス知識に不安がある場合は、「経営学の基礎講座」で早稲田MBAの小論文を解答する際に必要な知識はわかりやすく解説している。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**

**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**

**解答速報**

# 独学では対策が難しいとお考えの方へ

- 文章として読み手に理解しやすいように書く力を養うために、小論文の添削指導を繰り返しおこなうようなカリキュラムになっている。
- アガルートの講座の受講をご希望の方は、上記の単科講座での受講よりも、各講座をまとめてパッケージにした「フルカリキュラム」「ライトカリキュラム」などがお得になっているので、お勧めである。

ご希望の方は、アガルートの受講相談をお受けいただきたい。  
お問い合わせはHPもしくは概要欄をご確認ください！

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

2022年度（令和4年度）秋入試  
早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験  
**解答速報**

# 国内MBA進学のススめ

- 既存の常識に縛られることなく、自由な発想で、人生における「幸福とは何か？」を考えるキッカケになる。
- 既存の常識から解き放たれて、自分自身の幸福度の高い人生を歩むための武器である「創造性」が得られる。人生に答えはない。どう生きるかは、自分で考え創造するもの。既存の常識にとらわれる必要はない。
- 一生付き合うことができる仲間、恩師を得られる。
- 今の日本の社会では、「幸福度の高い生き方」を考える機会はない。有意義な人生は、国内MBAでの学びから得られる。

**受講相談**

**無料体験**

**受付中**

**2022年度（令和4年度）秋入試**  
**早稲田大学大学院 経営管理研究科 小論文試験**  
**解答速報**